

船舶事故調査報告書

令和3年3月24日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | |
|-------------|---|
| 事故種類 | 乗組員負傷 |
| 発生日時 | 令和2年2月24日 15時00分ごろ |
| 発生場所 | 神奈川県横須賀市横須賀港第3区C1岸壁 横須賀港西防波堤灯台から真方位242°900m付近 (概位 北緯35°17.1 東経139°40.6) |
| 事故の概要 | 警戒船 ^{かんとう} 関東丸は、着岸作業中、乗組員1人が甲板上の係船索を踏んで負傷した。 |
| 事故調査の経過 | 令和2年7月1日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済 |
| 事実情報 | |
| 船種船名、総トン数 | 警戒船 関東丸、193トン |
| 船舶番号、船舶所有者等 | 140932、東京汽船株式会社 |
| 乗組員等に関する情報 | 船長、三級（航海） 機関長、三級（機関）（機関限定） |
| 負傷者 | 軽傷 1人（機関長） |
| 損傷 | なし |
| 気象・海象 | 気象：天気 晴れ、風向 南南東、風力 3、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の中央期 |
| 事故の経過 | <p>本船は、船長及び機関長ほか3人が乗り組み、警戒船業務を終え、横須賀港第3区C1岸壁に入船左舷着けで着岸作業中、惰力で前進しながら同岸壁と船首部との距離が約1mになった頃、船首スプリングラインを船首部に取った。</p> <p>船尾配置についていた機関長は、左舷船尾部のブルワーク上に船尾プレストライン（直径約40mmの化学繊維索、以下「本件ライン」という。）のエンドのアイ（環）に付けた先取りロープをC1岸壁にいる別の乗組員1人に渡した。</p> <p>機関長は、本件ラインをC1岸壁へ送ろうと思い、振り返って、甲板上に足元の後方にあった本件ラインを右足で踏んだとき、右足に痛みを感じ、翌々日、病院で右第5中足骨骨折と診断された。</p> <p>機関長は、本件ラインを踏まないよう注意をしていたものの、慌てていて足元の後方を見ていなかったため、本件ラインを踏んだと本事故後に思った。</p> |
| 分析 | 本船は、着岸作業中、機関長が、本件ラインを岸壁へ送ろうとしたとき、慌てていて足元を見ておらず、足元の後方にあった本件ラインを右足で踏んだことから、右足に圧力がかかって負傷したものと推定される。 |
| 原因 | 本事故は、本船が、着岸作業中、機関長が、本件ラインを岸壁へ送 |

| | |
|--------------|---|
| | <p>ろうとしたとき、慌てていて足元を見ておらず、足元の後方にあった本件ラインを右足で踏んだため、右足に圧力がかかったことにより、発生したものと推定される。</p> |
| 再発防止策 | <p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・乗組員は、足元をよく確認し、係船索を踏まないよう注意して着岸作業を行うこと。 |